

## アジア・ハイ・イールド債券 ファンド（毎月分配型） 成長通貨コース

### ■当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	2011年11月14日から2021年8月10日まで	
運用方針	<p>①主として日本を除くアジア（オセアニアを含む）のハイ・イールド債券（米ドル建て等）を実質的な主要投資対象とし、インカムゲインの確保と信託財産の成長を目指します。</p> <p>②当ファンドは、原則、相対的に金利水準が高く、成長性が高いと考えられる6通貨の為替取引を行い、為替取引によるプレミアム（金利差相当分の収益）の獲得を目指します。</p>	
主要投資対象	アジア・ハイ・イールド債券ファンド（毎月分配型）成長通貨コース	投資信託証券
	日興アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド(クラス3)	アジア地域の米ドル建てのハイ・イールド債券等
	日興アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド(クラス4)	アジア地域の米ドル建てのハイ・イールド債券等
主な組入制限	アジア・ハイ・イールド債券ファンド（毎月分配型）成長通貨コース	投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。 デリバティブの直接利用は行いません。 株式への直接投資は行いません。
	日興アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド(クラス3)	有価証券の空売りは行いません。 純資産総額の10%を超える借入れを行いません。 投資信託証券への投資は行いません。
	日興アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド(クラス4)	有価証券の空売りは行いません。 純資産総額の10%を超える借入れを行いません。 投資信託証券への投資は行いません。
分配方針	<p>毎決算時に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。</p> <p>①分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた利子、配当収入と売買益（評価損益を含みます。）等の全額とします。</p> <p>②収益分配金額は、委託会社が基準価額水準、市場動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。</p>	

第88期（決算日 2019年3月11日）  
 第89期（決算日 2019年4月10日）  
 第90期（決算日 2019年5月10日）  
 第91期（決算日 2019年6月10日）  
 第92期（決算日 2019年7月10日）  
 第93期（決算日 2019年8月13日）

### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。  
 さて、「アジア・ハイ・イールド債券ファンド（毎月分配型）成長通貨コース」は、このたび第93期の決算を行いましたので、第88期～第93期中の運用状況をご報告申し上げます。  
 今後とも引き続きお引立て賜りますようお願い申し上げます。



損保ジャパン日本興亜アセットマネジメント

東京都中央区日本橋二丁目2番16号 共立日本橋ビル



<https://www.sjnk-am.co.jp/>

お問い合わせ先



クライアントサービス第二部 0120-69-5432  
 （受付時間 営業日の午前9時～午後5時）

※当ファンドが主要投資対象とする投資信託証券の正式名称については後掲「■主要投資対象の投資信託証券の概要」をご覧ください。

## ○最近30期の運用実績

決 算 期	基 準 (分配落)	価 額			投 資 信 託 組 入 比	純 資 産 総 額
		税 分	込 配	金 期 騰 落		
	円	円	円	%	%	百万円
64期(2017年3月10日)	6,627		80		98.1	1,084
65期(2017年4月10日)	6,440		80	△1.6	98.3	1,031
66期(2017年5月10日)	6,622		80	4.1	98.0	1,039
67期(2017年6月12日)	6,421		80	△1.8	98.0	985
68期(2017年7月10日)	6,471		80	2.0	98.6	986
69期(2017年8月10日)	6,473		60	1.0	97.6	971
70期(2017年9月11日)	6,425		60	0.2	97.3	939
71期(2017年10月10日)	6,412		60	0.7	97.1	916
72期(2017年11月10日)	6,378		60	0.4	96.8	878
73期(2017年12月11日)	6,344		60	0.4	97.4	833
74期(2018年1月10日)	6,488		60	3.2	95.7	842
75期(2018年2月13日)	6,174		60	△3.9	97.0	787
76期(2018年3月12日)	6,057		60	△0.9	96.6	755
77期(2018年4月10日)	5,867		60	△2.1	98.2	717
78期(2018年5月10日)	5,641		60	△2.8	98.2	674
79期(2018年6月11日)	5,434		60	△2.6	96.9	628
80期(2018年7月10日)	5,226		60	△2.7	98.2	582
81期(2018年8月10日)	5,179		60	0.2	97.2	568
82期(2018年9月10日)	4,760		60	△6.9	98.4	512
83期(2018年10月10日)	4,906		60	4.3	97.1	526
84期(2018年11月12日)	5,049		60	4.1	97.7	537
85期(2018年12月10日)	5,045		60	1.1	96.7	526
86期(2019年1月10日)	4,886		60	△2.0	97.3	484
87期(2019年2月12日)	5,057		60	4.7	97.0	495
88期(2019年3月11日)	5,017		60	0.4	95.8	495
89期(2019年4月10日)	5,064		60	2.1	96.4	502
90期(2019年5月10日)	4,846		60	△3.1	96.1	480
91期(2019年6月10日)	4,820		60	0.7	96.5	478
92期(2019年7月10日)	4,891		60	2.7	96.8	482
93期(2019年8月13日)	4,623		60	△4.3	97.6	450

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 基準価額及び分配金は1万円当たり（以下同じ）。

(注3) 投資信託証券組入比率は日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンドの組入比率。

(注4) 当ファンドは、日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンドへの投資比率を可能な限り高位に保ちますが、当該投資信託証券のコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載していません。

## ○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決 算 期	年 月 日	基 準	価 額		投 資 信 託 組 入 比 率
			騰 落 率	率	
第88期	(期 首)	円		%	%
	2019年2月12日	5,057		—	97.0
	2 月末	5,120		1.2	96.2
	(期 末)				
第89期	2019年3月11日	5,077		0.4	95.8
	(期 首)				
	2019年3月11日	5,017		—	95.8
	3 月末	5,037		0.4	96.6
第90期	(期 末)				
	2019年4月10日	5,124		2.1	96.4
	(期 首)				
	2019年4月10日	5,064		—	96.4
第91期	4 月末	5,015		△1.0	96.2
	(期 末)				
	2019年5月10日	4,906		△3.1	96.1
	(期 首)				
第92期	2019年5月10日	4,846		—	96.1
	5 月末	4,906		1.2	97.0
	(期 末)				
	2019年6月10日	4,880		0.7	96.5
第93期	(期 首)				
	2019年6月10日	4,820		—	96.5
	6 月末	4,867		1.0	97.1
	(期 末)				
第94期	2019年7月10日	4,951		2.7	96.8
	(期 首)				
	2019年7月10日	4,891		—	96.8
	7 月末	4,911		0.4	98.0
第95期	(期 末)				
	2019年8月13日	4,683		△4.3	97.6

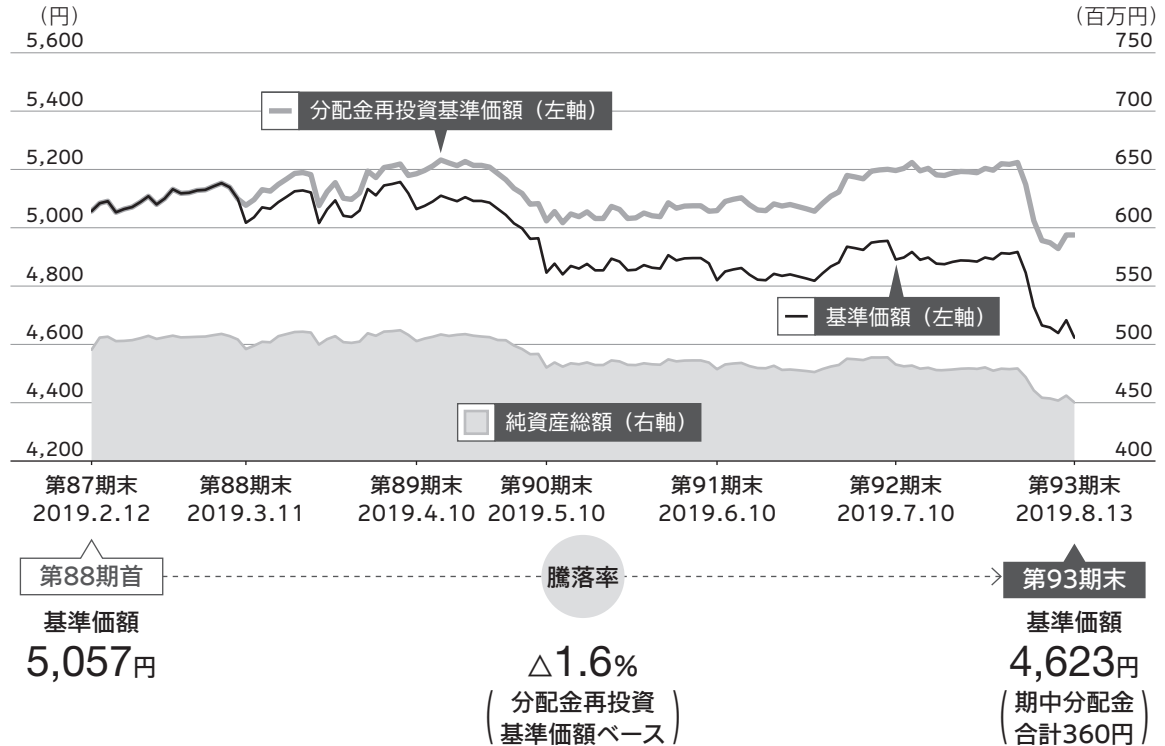
(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

(注2) 投資信託証券組入比率は日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンドの組入比率。

(注3) 当ファンドは、日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンドへの投資比率を可能な限り高位に保ちますが、当該投資信託証券のコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

## 運用経過

### ● 基準価額の推移



- 分配金再投資基準価額の推移は、2019年2月12日の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。
- 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- 当ファンドは、日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンドへの投資比率を可能な限り高位に保ちますが、当該投資信託証券のコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

## ● 基準価額の主な変動要因

### 📊 アジア・ハイ・イールド債券ファンド（毎月分配型） 成長通貨コース

主要投資対象である「日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス3）」および「日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス4）」は、債券部分がプラス寄与した一方、為替部分がマイナス寄与し、分配金再投資基準価額の騰落率はマイナスとなりました。

- 本報告書では、ベビーファンドとファンド・オブ・ファンズを下記の様に統一して表記しています。

📊 ベビーファンド    📊 ファンド・オブ・ファンズ

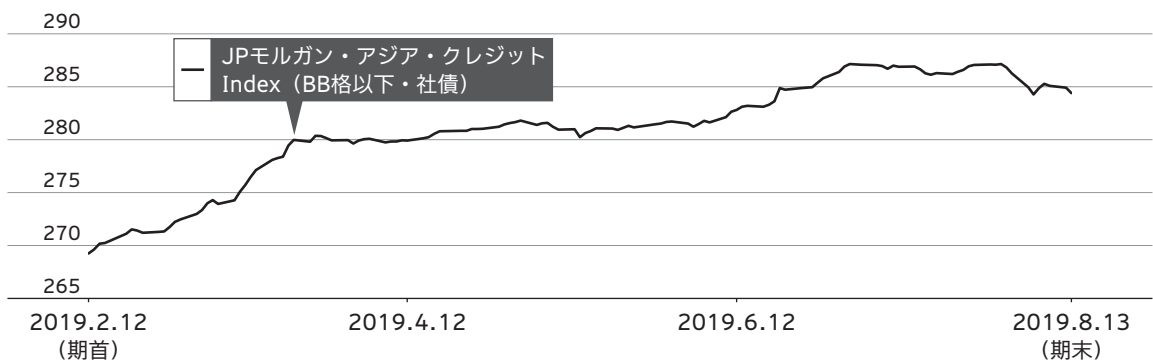
## ● 投資環境

当期のアジア・ハイ・イールド債券市場は上昇しました。

期初から2019年3月下旬にかけては、米国での利上げ観測の後退や、グローバルな景気鈍化への懸念から米国利回りが低下したことなどから、アジア・ハイ・イールド債券市場は上昇しました。

その後は、米国や欧州で金融緩和への期待が高まったことに加えて、米中通商協議進展への期待などからクレジットスプレッドが縮小基調で推移し堅調な推移となりました。

市況の推移

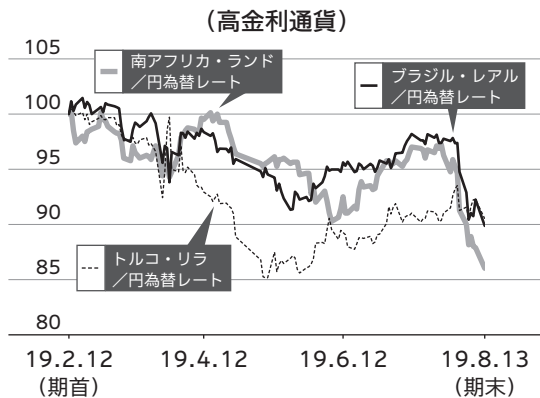


(出所：Bloomberg)

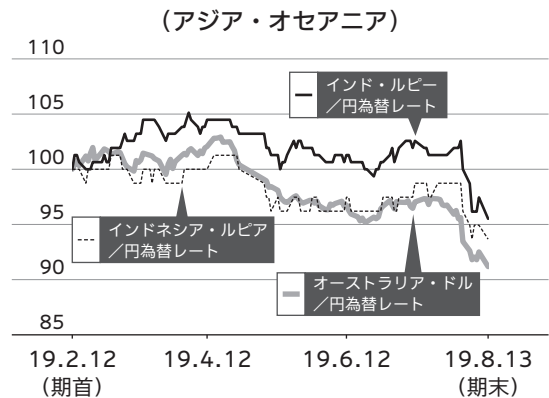
当期の為替市場は、FRB（米連邦準備理事会）による利下げへの期待感が強まったことを受けて、円高ドル安が進みました。

アジア通貨についても、インドネシアルピア、インドルピー、オーストラリアドルともに対円で下落する展開となりました。高金利通貨については、対米関係の悪化や政治的な不透明感からトルコリラが下落する局面があったもののその後は反発しました。ブラジルレアル、南アフリカランドについてはともに対円で下落する展開となりました。

### 為替レートの推移



出所：（ブラジルレアル・トルコリラ）投資信託協会  
（南アフリカランド）Bloomberg



(出所：Bloomberg)

注1. 為替レートは対顧客電信売買相場の仲値を使用しております。

注2. 為替レートは期首を100として指数化しております。

## ● 当該投資信託のポートフォリオ

期を通じて、「日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス3）」および「日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス4）」への投資比率を概ね均等に維持しました。

### 日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス3）

アジア・ハイ・イールド債券利回りが低下（価格は上昇）したことに加えて、クーポン収入等が貢献し、債券部分はプラスに寄与しました。

トルコリラ、ブラジルレアル、南アフリカランドが対円で下落したことから、為替部分はマイナスに寄与しました。

### 日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス4）

アジア・ハイ・イールド債券利回りが低下（価格は上昇）したことに加えて、クーポン収入等が貢献し、債券部分はプラスに寄与しました。

インドネシアルピア、インドルピー、オーストラリアドルが対円で下落したことから、為替部分はマイナスに寄与しました。

## ● 当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドは、日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンドへの投資比率を可能な限り高位に保ちますが、当該投資信託証券のコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

## ● 分配金

収益分配金については、基準価額の水準等を勘案し、合計360円の分配を行いました。なお、収益分配に充てなかった収益は、信託財産に留保し、運用の基本方針に基づいて引き続き元本と同一の運用を行います。

## 分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり・税引前）

項目	第88期	第89期	第90期	第91期	第92期	第93期
	2019.2.13 } 2019.3.11	2019.3.12 } 2019.4.10	2019.4.11 } 2019.5.10	2019.5.11 } 2019.6.10	2019.6.11 } 2019.7.10	2019.7.11 } 2019.8.13
当期分配金	60	60	60	60	60	60
（対基準価額比率）	1.182%	1.171%	1.223%	1.230%	1.212%	1.281%
当期の収益	60	60	60	60	60	60
当期の収益以外	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額	7,532	7,550	7,568	7,586	7,607	7,627

注1. 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

注2. 円未満は切り捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税引前）に合致しない場合があります。

注3. 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

注4. 投資信託特有の会計処理により、「翌期繰越分配対象額」が基準価額を上回っている場合がありますが、実際に基準価額を超えて分配金が支払われることはありません。

### 決算期毎にインカム収入※を中心に分配を行うことを目指すファンドです。

※ インカム収入とは、債券の利子収入、為替取引によるプレミアム（金利差相当分の収益）収入等をいいます。

- ・ ファンドに蓄積された過去の運用成果（分配原資）を加味する場合があります。
- ・ 投資対象資産や為替の値動き等により基準価額が下落した場合でも、原則として、インカム収入相当については、分配を行います。

## ● 今後の運用方針

### アジア・ハイ・イールド債券ファンド（毎月分配型） 成長通貨コース

今後も、「日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス3）」および「日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス4）」への投資比率を概ね均等に保つことにより、信託財産の中長期的な成長を目指します。



## 日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド

米中通商協議を巡る不透明感は依然として金融市場の重石となっていますが、FRBなど主要国の中央銀行は金融政策についてハト派的なスタンスを強めておりアジア・ハイ・イールド債券市場のサポート要因になると考えます。中国では政府による積極的な景気下支えは継続される見込みです。総じて、アジア各国の経済基盤は引き続き堅調であり、企業の財務基盤も健全な状況にあることから、中長期的にはアジア・ハイ・イールド債券市場は底堅い推移を予想しています。

### ● 1万口当たりの費用明細

期中の1万口当たりの費用の割合は **0.496%** です。

項目	第88期～第93期 2019.2.13～2019.8.13		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	25円	0.495%	(a) 信託報酬 = 各期中の平均基準価額 × 信託報酬率 (年率) × $\frac{\text{各期の日数}}{\text{年間の日数}}$ 期中の平均基準価額は4,976円です。
( 投信会社 )	( 9 )	( 0.189 )	ファンドの運用の対価
( 販売会社 )	( 14 )	( 0.291 )	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
( 受託会社 )	( 1 )	( 0.016 )	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) その他費用	0	0.001	(b) その他費用 = $\frac{\text{各期中のその他費用}}{\text{各期中の平均受益権口数}}$
( 監査費用 )	( 0 )	( 0.001 )	監査法人に支払うファンドの監査にかかる費用
( その他 )	( 0 )	( 0.000 )	信託事務の処理にかかるその他の費用等
<b>合計</b>	<b>25</b>	<b>0.496</b>	

注1. 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

注2. 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

注3. 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

注4. 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

## ○売買及び取引の状況

(2019年2月13日～2019年8月13日)

## 投資信託証券

銘柄		第88期～第93期			
		買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
国内	NikkoAM Asia Investment Series-NikkoAM AsiaHighYieldBondFund III	66,893	12,000千円	—	—千円

(注1) 金額は受渡代金。

(注2) 単位未満は切捨て。

## ○利害関係人との取引状況等

(2019年2月13日～2019年8月13日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ○組入資産の明細

(2019年8月13日現在)

## ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘柄		第87期末	第93期末		
		口数	口数	評価額	比率
		口	口	千円	%
	NikkoAM Asia Investment Series-NikkoAM AsiaHighYieldBondFund III	1,267,790	1,334,683	215,455	47.9
	NikkoAM Asia Investment Series-NikkoAM AsiaHighYieldBondFund IV	716,204	716,204	223,742	49.7
	合計	1,983,995	2,050,888	439,197	97.6

(注) 単位未満は切捨て。

## ○投資信託財産の構成

(2019年8月13日現在)

項目	第93期末	
	評価額	比率
投資信託受益証券	439,197千円	96.2%
コール・ローン等、その他	17,303	3.8
投資信託財産総額	456,500	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第88期末	第89期末	第90期末	第91期末	第92期末	第93期末
	2019年3月11日現在	2019年4月10日現在	2019年5月10日現在	2019年6月10日現在	2019年7月10日現在	2019年8月13日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	502,997,522	509,420,453	490,380,297	485,093,281	489,839,594	456,500,847
コール・ローン等	28,017,610	24,474,300	28,829,505	22,941,580	22,549,420	17,303,184
投資信託受益証券(評価額)	474,979,912	484,946,153	461,550,792	462,151,701	467,290,174	439,197,663
(B) 負債	7,024,935	6,622,691	10,227,289	6,373,385	7,086,325	6,282,214
未払収益分配金	5,931,547	5,956,890	5,944,677	5,958,640	5,921,617	5,843,371
未払解約金	721,087	251,858	3,871,591	5,892	771,011	951
未払信託報酬	371,256	412,460	409,140	407,214	392,787	436,907
未払利息	45	67	82	61	66	44
その他未払費用	1,000	1,416	1,799	1,578	844	941
(C) 純資産総額(A-B)	495,972,587	502,797,762	480,153,008	478,719,896	482,753,269	450,218,633
元本	988,591,218	992,815,037	990,779,589	993,106,743	986,936,190	973,895,256
次期繰越損益金	△492,618,631	△490,017,275	△510,626,581	△514,386,847	△504,182,921	△523,676,623
(D) 受益権総口数	988,591,218口	992,815,037口	990,779,589口	993,106,743口	986,936,190口	973,895,256口
1万口当たり基準価額(C/D)	5,017円	5,064円	4,846円	4,820円	4,891円	4,623円

(注1) 当作成期間(第88期~93期)における期首元本額979,582,447円、期中追加設定元本額48,754,342円、期中一部解約元本額54,441,533円

(注2) 期末における1口当たりの純資産総額

第88期0.5017円、第89期0.5064円、第90期0.4846円、第91期0.4820円、第92期0.4891円、第93期0.4623円

(注3) 期末における元本の欠損金額

第88期492,618,631円、第89期490,017,275円、第90期510,626,581円、第91期514,386,847円、第92期504,182,921円、第93期523,676,623円

○損益の状況

項 目	第88期	第89期	第90期	第91期	第92期	第93期
	2019年2月13日～ 2019年3月11日	2019年3月12日～ 2019年4月10日	2019年4月11日～ 2019年5月10日	2019年5月11日～ 2019年6月10日	2019年6月11日～ 2019年7月10日	2019年7月11日～ 2019年8月13日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	7,933,149	8,084,086	8,072,625	8,201,999	8,195,302	8,202,265
受取配当金	7,934,527	8,085,043	8,073,729	8,203,460	8,196,702	8,203,553
支払利息	△ 1,378	△ 957	△ 1,104	△ 1,461	△ 1,400	△ 1,288
(B) 有価証券売買損益	△ 5,650,508	2,946,836	△ 23,361,625	△ 4,400,495	5,108,689	△ 28,099,934
売買益	1,566,284	4,219,866	44,944	34	5,138,473	335
売買損	△ 7,216,792	△ 1,273,030	△ 23,406,569	△ 4,400,529	△ 29,784	△ 28,100,269
(C) 信託報酬等	△ 372,256	△ 413,876	△ 410,780	△ 408,088	△ 393,631	△ 437,848
(D) 当期損益金(A+B+C)	1,910,385	10,617,046	△ 15,699,780	3,393,416	12,910,360	△ 20,335,517
(E) 前期繰越損益金	△421,631,894	△423,485,984	△413,538,840	△434,649,583	△433,023,781	△418,782,027
(F) 追加信託差損益金	△66,965,575	△71,191,447	△75,443,284	△77,172,040	△78,147,883	△78,715,708
(配当等相当額)	(558,220,782)	(562,348,717)	(563,169,304)	(565,158,796)	(562,277,816)	(555,555,525)
(売買損益相当額)	(△625,186,357)	(△633,540,164)	(△638,612,588)	(△642,330,836)	(△640,425,699)	(△634,271,233)
(G) 計(D+E+F)	△486,687,084	△484,060,385	△504,681,904	△508,428,207	△498,261,304	△517,833,252
(H) 収益分配金	△5,931,547	△5,956,890	△5,944,677	△5,958,640	△5,921,617	△5,843,371
次期繰越損益金(G+H)	△492,618,631	△490,017,275	△510,626,581	△514,386,847	△504,182,921	△523,676,623
追加信託差損益金	△66,965,575	△71,191,447	△75,443,284	△77,172,040	△78,147,883	△78,715,708
(配当等相当額)	(558,220,782)	(562,348,717)	(563,169,304)	(565,158,796)	(562,277,816)	(555,555,525)
(売買損益相当額)	(△625,186,357)	(△633,540,164)	(△638,612,588)	(△642,330,836)	(△640,425,699)	(△634,271,233)
分配準備積立金	186,391,500	187,277,044	186,657,031	188,265,966	188,512,418	187,260,115
繰越損益金	△612,044,556	△606,102,872	△621,840,328	△625,480,773	△614,547,456	△632,221,030

(注1) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 信託報酬等には、消費税相当額を含めて表示しております。

(注3) 追加信託差損益金とは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 分配金の計算過程(2019年2月13日～2019年8月13日)は以下の通りです。

項 目	2019年2月13日～ 2019年3月11日	2019年3月12日～ 2019年4月10日	2019年4月11日～ 2019年5月10日	2019年5月11日～ 2019年6月10日	2019年6月11日～ 2019年7月10日	2019年7月11日～ 2019年8月13日
a. 配当等収益(費用控除後)	7,560,893円	7,780,756円	7,661,845円	7,793,911円	7,952,825円	7,764,417円
b. 有価証券等損益額(費用控除後)	0円	0円	0円	0円	0円	0円
c. 信託約款に規定する収益調整金	558,220,782円	562,348,717円	563,169,304円	565,158,796円	562,277,816円	555,555,525円
d. 信託約款に規定する分配準備積立金	184,762,154円	185,453,178円	184,939,863円	186,430,695円	186,481,210円	185,339,069円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	750,543,829円	755,582,651円	755,771,012円	759,383,402円	756,711,851円	748,659,011円
f. 分配対象収益(1万口当たり)	7,592円	7,610円	7,628円	7,646円	7,667円	7,687円
g. 分配金	5,931,547円	5,956,890円	5,944,677円	5,958,640円	5,921,617円	5,843,371円
h. 分配金(1万口当たり)	60円	60円	60円	60円	60円	60円

## ○分配金のお知らせ

	第88期	第89期	第90期	第91期	第92期	第93期
1 万口当たり分配金（税込み）	60円	60円	60円	60円	60円	60円

## &lt;分配金をお支払いする場合&gt;

・分配金は、原則として各決算日から起算して5営業日までにお支払いを開始しています。

## &lt;分配金を再投資する場合&gt;

・お手持り分配金は、各決算日現在の基準価額に基づいて、みなさまの口座に繰り入れて再投資しています。

## &lt;課税上の取扱いについて&gt;

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配金落ち後の基準価額が個別元本と同額の場合または個別元本を上回っている場合は、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配金落ち後の基準価額が個別元本を下回っている場合には、その下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、収益分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・個人の受益者に対する課税  
 税率は普通分配金について、20.315%（所得税及び復興特別所得税15.315%、並びに地方税5%）です。

※上記は源泉徴収時の税率であり、税率は課税方法等により異なる場合があります。

※少額投資非課税制度「愛称：NISA（ニーサ）」をご利用の場合、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得及び譲渡所得が5年間非課税となります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。

※法人の受益者に対する課税は、税率が異なります。

※上記内容は、税法が改正された場合等には変更になることがあります。

※課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家または税務署等にご確認ください。

<参考情報>組入れ投資信託証券の内容

■主要投資対象の投資信託証券の概要

名称	<p>■日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス3） （Nikko AM Asia Limited Investment Series-Nikko AMアジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス3））</p> <p>■日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス4） （Nikko AM Asia Limited Investment Series-Nikko AMアジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス4））</p>	
形態	ケイマン籍外国投資信託（円建て）	
運用の基本方針	①主として、アジア地域の米ドル建てのハイ・イールド債券等に投資します。	
	②原則として以下の通貨で為替取引（対米ドル等）を行います。	
	高金利通貨 アジア・オセアニア	クラス3 クラス4
主な投資制限	<p>①有価証券の空売りは行いません。</p> <p>②純資産総額の10%を超える借入れを行いません。</p> <p>③投資信託証券への投資は行いません。</p>	
決算日	毎年12月31日	
信託報酬等	<p>純資産総額に対して年率0.77%</p> <p>※年間最低報酬額等がかかる場合は、純資産総額等により年率換算で上記の信託報酬率を上回ることがあります。</p> <p>※上記のほか、投資信託証券の設立・開示に関する費用等（監査費用、弁護士費用等）、管理報酬、売買委託手数料、外国における資産の保管等に要する費用、信託財産に関する租税等がかかります。</p>	
申込・解約手数料	ありません。	
投資顧問会社	日興アセットマネジメント アジア リミテッド	

※当ファンドが主要投資対象とする投資信託証券の名称及びその運用会社の名称等は今後変更となる場合があります。

## ■包括利益計算書

(2018年1月1日から2018年12月31日まで)  
アメリカドル

<b>収益</b>	
純損益を通じて公正価値で測定される金融資産・負債に係る純利益／損失 (△)	△20,693,532
為替差損益	△ 24,349
その他収益	—
<b>収益合計</b>	<b>△20,717,881</b>
<b>費用</b>	
支払利息	△ 7,782
投資運用報酬	△ 1,577,421
投資運用報酬 払戻料	89,455
管理報酬	△ 91,857
監査報酬	△ 43,639
保管報酬	△ 56,578
名義書換費用	—
取引費用	—
受託者報酬	△ 20,485
その他営業費用	△ 30,482
<b>営業費用合計</b>	<b>△ 1,738,789</b>
税引前・分配前利益 (損失)	△22,456,670
税金	—
税引後・分配前利益 (損失)	△22,456,670
分配金	△32,569,899
税引後・分配後利益 (損失)	△55,026,569
営業活動による償還可能受益証券の保有者に帰属する純資産の減少	△55,026,569

投資信託証券「日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド」の財務諸表の一部を委託会社にて抜粋・翻訳したものです。

## ■組入上位銘柄

(2018年12月31日現在)

銘柄名	国・地域	クーポン	償還日	純資産構成比
KWG GRP HLDGS 8.975% 14/01/19 REGS USD	中国	8.975%	2019/01/14	3.8%
CHINA SCE GRP PROPERTY HLDGS 10% 02/07/20 USD	中国	10.000%	2020/07/02	3.2%
EXPORT-IMPORT BANK KOREA FRN 01/11/2022 USD	韓国	3.466%	2022/11/01	3.0%
POWERLONG REAL ESTAT 5.95% 19/07/20 USD	中国	5.950%	2020/07/19	2.7%
SUNAC CHINA HLDGS 8.625% 27/07/20 USD	中国	8.625%	2020/07/27	2.5%
YANGO JUSTICE INTL 9.5% 23/09/19 USD	中国	9.500%	2019/09/23	2.5%
XINHU ZHONGBAO 6% 01/03/20 USD	中国	6.000%	2020/03/01	2.3%
CENTRAL CHINA REAL ESTATE 8% 28/01/20 REGS USD	中国	8.000%	2020/01/28	2.2%
VEDANTA RESOURCES 8.25% 07/06/21 REGS USD	インド	8.250%	2021/06/07	2.1%
CHINA SCE GRP PROPERTY HLDGS 7.45% 17/04/21 USD	中国	7.450%	2021/04/17	2.1%

「日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド」の運用会社である日興アセットマネジメント アジア リミテッドが作成したデータを、委託会社にて翻訳したものです。